

AC-1 Adaptive Compressor

ユーザーマニュアル / バージョン 1.0.0

目次

1. 概要
2. 動作環境とインストール
3. 無料試用・シリアル番号認証・アカウント
4. 画面の見かた
5. Learn の使いかた
6. コントロール
7. Undo・Redo とサイズ変更
8. よくある質問とトラブルシューティング
9. サポート

1. 概要

- ・ **Learn:** SOURCE（トラックの種類）と詳細を選び、LEARN を押して、実際の音を 8 秒ぶん再生します。THRESHOLD・RATIO・ATTACK・RELEASE・KNEE・MIX・AUTO GAIN・AUTO REL、コンプレッサーの種類（CHARACTER）、DRIVE の種類と量が、測定結果から設定されます。
- ・ **3 種類のコンプレッサー**（OPTO / FET / VCA）。AUTO にすると Learn 後に自動的に選択されます。
- ・ **TARGET:** Learn のあと、ゲインリダクションのリング上のマーカーをドラッグして、狙うゲインリダクション量（1〜20 dB）を指定できます。RATIO・KNEE・THRESHOLD がそれに合わせて動きます。
- ・ **DRIVE:** 4 種類のサチュレーション（TUBE / XFMR [TRANSFORMER] / TAPE / FET）。Learn 後に種類と量が自動的に設定されますが、DRIVE はご自身でオンにする必要があります。
- ・ **AUTO GAIN:** 入力と出力の聴感上の音量をそろえます。圧縮の効きを聴き比べられます。
- ・ **全経路がリニアフェーズ:** AC-1 のどの経路も、周波数によって位相がずれない（リニアフェーズ）処理です。コンプレッサー本体は時間とともに変わるゲインを掛けるだけで、DRIVE にもリニアフェーズのオーバーサンプラーを使っています。
- ・ **モノラルとステレオ**に対応。
- ・ **レイテンシー:** 48 kHz で 44 サンプル（約 0.92 ms）

2. 動作環境とインストール

項目	内容
OS	Windows 11（64 bit） / macOS 13 (Ventura) 以降（Apple Silicon・Intel の両方に対応）
形式	VST3（Windows / macOS） / Audio Unit（macOS のみ）
対応ホスト	VST3 または Audio Unit に対応した DAW
インターネット	シリアル番号の認証時と、その後少なくとも 30 日に 1 回の確認（通常は約 1 日に 1 回、自動）に必要です。常時オフラインのコンピューターは、オフライン認証で使えます（3 章）

インストールの手順（Windows）

1. aideaudio.com から、インストーラー（AC-1_Installer_v1.x.x.exe）をダウンロードして実行します。ダウンロードは、AC-1 の製品ページの「ダウンロード(Windows)」ボタン、またはアカウントページ（ダッシュ

ボード)の「ライセンス」にあるライセンスの行の「Win」ボタンから行えます。

2. 管理者権限が求められます。許可すると、インストーラーの画面が開きます。
3. 使用許諾契約書 (EULA) のページが表示されます。内容を確認し、同意するとインストールを進められます。
4. インストール先のページで、保存先を選びます。
5. 内容を確認して、インストールを実行します。完了したら、DAW を起動してプラグインを再スキャンします。プラグイン一覧に AC-1 が表示されます。

アンインストールは、Windows の「インストールされているアプリ」(表示名: AIDE AUDIO AC-1 ver1.x.x) から行います。インストール先フォルダーの AC-1Uninstaller.exe でも実行できます。アンインストールしても、試用期間とライセンスの記録 (%APPDATA%\AIDE AUDIO) は残ります。再インストールで試用期間がやり直しになることも、認証が外れることもありません。

インストールの手順 (macOS)

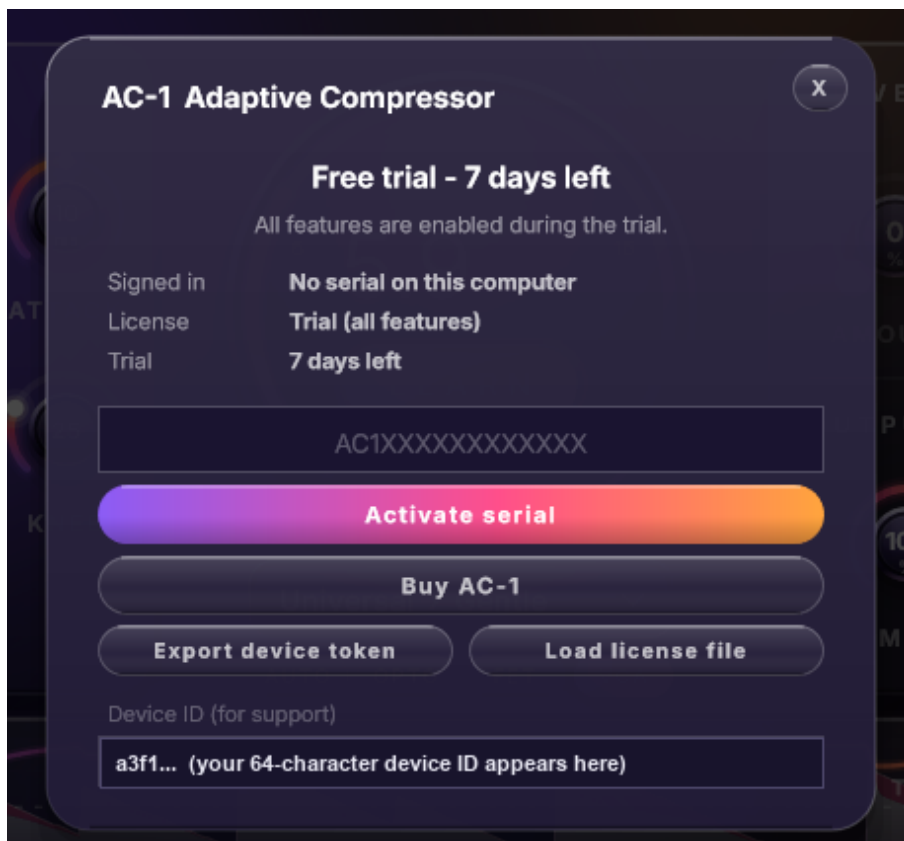
1. aideaudio.com から、インストーラー (AC-1_Installer_v1.x.x.pkg) をダウンロードして開きます。ダウンロードは、AC-1 の製品ページの「ダウンロード(Mac)」ボタン、またはアカウントページ (ダッシュボード) の「ライセンス」にあるライセンスの行の「Mac」ボタンから行えます。
2. 使用許諾契約書 (EULA) のページが表示されます。内容を確認し、同意するとインストールを進められます。
3. 画面の指示に従ってインストールを実行します。管理者のパスワードが求められたら入力します。VST3 は /Library/Audio/Plug-Ins/VST3、Audio Unit は /Library/Audio/Plug-Ins/Components に入ります。
4. 完了したら、DAW を起動し直してプラグインを再スキャンします。プラグイン一覧に AC-1 が表示されます。

アンインストールは、Finder で上の 2 つのフォルダーから AC-1.vst3 と AC-1.component をゴミ箱に入れて行います。アンインストールしても、試用期間とライセンスの記録 (-/Library/AIDE AUDIO) は残ります。再インストールで試用期間がやり直しになることも、認証が外れることもありません。

3. 無料試用・シリアル番号認証・アカウント

3.1 無料試用

- ・ AC-1 には、**全機能が使える 7 日間の無料試用期間**があります。7 日 (168 時間) は、使った時間ではなく、試用を始めてからの経過時間です。
- ・ ウィンドウ上部の ? の右にある人型のアカウントボタンにマウスを乗せると、状態が出ます:
TRIAL: 7 DAYS (数字は残り日数)、**LICENSED**、**TRIAL ENDED**、**ONLINE CHECK**。対応が必要な状態では人型が琥珀色になります。クリックするとアカウント画面が開きます。



試用期間中のアカウント画面。下部のデバイス ID は、ここでは仮の表示です。

警告: 試用期間が終わり、シリアル番号も認証されていないと、AC-1 は音をバイパスします。ウィンドウを開くとアカウント画面が表示されます。続けて使うには、シリアル番号を入力してください（次項）。

試用期間が終わり、シリアル番号も認証されていない状態では、LEARN ボタンを押しても Learn は始まりません（ボタン自体は表示されますが、押しても何も起きません）。

3.2 シリアル番号の認証

- ・ アカウントボタンをクリックし、シリアル番号（AC1 に続く英数字 12 文字）を入力して **Activate serial** をクリックします。
- ・ まだお持ちでない場合は、**Buy AC-1** をクリックすると、ブラウザーで製品ページが開きます。
- ・ 成功すると「Licensed - thank you!」と表示され、アカウントボタンの状態が **LICENSED** になります。

3.3 1 つのシリアル番号で 3 台まで

1 つのシリアル番号は、最大 **3 台** のコンピューターで有効にできます。別のコンピューターへ移すときは、先に移行元のコンピューターで Sign out を行い、枠を空けてください。

- ・ アカウント画面を開き、**Sign out** をクリックします。このコンピューターからライセンスが削除され、サーバー側の枠も解放されます（「Signed out. This device slot is free again.」）。
- ・ AC-1 がサーバーに接続できなかったときは「Signed out here, but the slot is still used. Free it under Activated Devices on your account page.」と表示されます。この場合は、aideaudio.com のアカウントページを開き、ライセンスの行を開いて「認証デバイス」の一覧から、そのコンピューターを解除してください。

3.4 オフライン認証

インターネットにつながらないコンピューターは、つながる別のコンピューターを使って認証します。

1. オフラインのコンピューターでアカウント画面を開き、シリアル番号を入力して **Export device token** をクリックします。小さなテキストファイル（AC-1-device-token.txt）を保存します。

2. インターネットにつながるコンピューターで、aideaudio.com のアカウントページ（ダッシュボード）にログインします。該当するライセンスの行の矢印で詳細を開き、「認証デバイス」の一覧の下にある「オフライン認証」ボタンをクリックします。デバイストークン（.txt）を選ぶと、ライセンスファイル（拡張子 **.aidelicense**）が保存されます。このボタンは AC-1 のライセンスにだけ表示されます。

3. ライセンスファイルをオフラインのコンピューターへコピーし、アカウント画面で **Load license file** をクリックして選びます。

オフラインのライセンスは、そのコンピューター 1 台でだけ使えます。アカウント画面には「Full version (offline license)」と表示されます。

3.5 デバイス ID

アカウント画面の下部に、このコンピューターの **デバイス ID**（画面の表示は Device ID、64 文字）が表示されます。シリアル番号が認証できないときは、この ID をサポートへお送りください。クリックすると選択され、コピーできます。

4. 画面の見かた

初期設定のウィンドウサイズは 960 x 540 ピクセルです。



Learn 後の AC-1。番号は下の表に対応します。

No.	部分	役割
1	? ボタン	メニューを開きます: Send feedback...、Manual、Support、バージョン (9 章)
2	アカウントボタン (人型)	アカウント画面を開きます。マウスを乗せると試用・ライセンスの状態が出ます
3	Undo / Redo	右上の 2 つの矢印 (7 章)
4	COMPRESSOR パネル	THRESHOLD・RATIO・ATTACK・RELEASE・KNEE
5	AUTO (RELEASE の下)	AUTO REL: 素材に合わせた自動リリース
6	ゲインリダクションのリング	大きな数字が現在のゲインリダクション (dB)。目盛りは 0~20 dB
7	TARGET マーカー	リング上のオレンジの線と三角。Learn のあとに現れます
8	LEARN ボタン	Learn の開始と中止。学習中は進み具合を表示します
9	SOURCE メニュー	トラックの種類と詳細を、1 つの階層メニューで選びます
10	CHARACTER チップ	AUTO / OPTO / FET / VCA
11	DRIVE パネル	オン・オフのスイッチ、AMOUNT、4 種類の DRIVE
12	OUTPUT パネル	MIX・OUTPUT・AUTO GAIN
13	レベル履歴	レベルとゲインリダクションが流れる表示
14	IN / OUT メーター	入力・出力のレベルとクリップ表示

レベル履歴

- 塗りつぶしの面が**出力**レベル、線が**入力**レベルです。

- ・ 上から垂れ下がる帯が**ゲインリダクション**です。
- ・ 破線は **THRESHOLD** です。
- ・ 表示の上でマウスホイールを回すと、縦軸の表示範囲が 60・36・24 dB に切り替わります。

メーターとクリップ表示

IN と OUT の棒がレベルを表します。信号が 0 dBFS に達すると、棒の上の小さな赤い表示が点灯し、**メーターをクリックするまで点灯したまま**です。OUT の表示が点灯したら、OUTPUT を下げるか、AUTO GAIN をオフにしてください。

5. Learn の使いかた

5.1 手順

1. **SOURCE** メニューでトラックの種類を選びます。迷ったら **Universal** のままで構いません。
2. DAW で再生を始めます。トラックのある程度音量の大きい部分を使ってください。
3. **LEARN** をクリックします。リングに LEARNING と進行率が出ます。
4. 進行率が 100 %（実際の音で 8 秒ぶん）になるまで再生を続けます。ノブが新しい値へなめらかに動き、TARGET マーカーが現れます。



SOURCE メニュー。左が種類、右が詳細です。

6. コントロール

下の値は、パラメーターの範囲と、Learn する前の初期設定です。

6.1 COMPRESSOR

コントロール	範囲	初期設定	役割
THRESHOLD	-60～0 dB	-18 dB	圧縮が始まるレベル
RATIO	1:1～20:1	4:1	しきい値を超えた分をどれだけ強く抑えるか
ATTACK	0.1～200 ms	10 ms	圧縮がかかる速さ。
RELEASE	10～2000 ms	200 ms	圧縮が戻る速さ。
KNEE	HARD (0) ～SOFT (100)	25	しきい値付近で圧縮がどれだけ緩やかに始まるか
AUTO REL	オン / オフ	オフ	素材に合わせた自動リリース（下記）

ノブの中央をダブルクリックすると、値を数字で入力できます。

AUTO REL. オンにすると RELEASE ノブは無効になります。リリースは速い段とゆっくりした段の2段で動きます。速い段の時間は種類ごとに決まっています（OPTO と VCA は 100 ms、FET は 70 ms）、ゆっくりした段は長く深い圧縮のあとにだけ加わります。短いピークのあとはすばやく、長く続いた圧縮のあとはゆっくり戻ります。Learn は、複数の音が混ざった SOURCE と詳細のときだけこれをオンにします。



AUTO REL オン。RELEASE ノブは無効になります。

6.2 CHARACTER

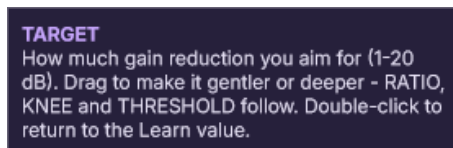
CHARACTER は、コンプレッサーの種類です。ボタンにマウスを重ねると短い説明が出ます。

種類	性格	向く用途
AUTO	Learn 後にいずれかのキャラクターが自動で選択されます。	初期設定
OPTO	ゆっくりでなめらか。リリースは常に2段で、素材に合わせて変わります	ボーカル、ベース、ストリングス
FET	速くて力強く、ピークを逃さない。深いゲインリダクションではわずかに倍音加わります	ドラム、ロックギター
VCA	クリーンで中立。それ自体の色付けがありません	バス、ミックス

6.3 TARGET

TARGET は、狙うゲインリダクションの量（dB）を決めます。

- ・ **Learn が終わると**現れます。
- ・ マーカーをリングに沿って**ドラッグ**すると、圧縮を浅く・深くできます（1～20 dB）。RATIO・KNEE・THRESHOLD が追従します。ATTACK と RELEASE は動きません。
- ・ マーカーを**ダブルクリック**すると、Learn が選んだ値に戻ります。
- ・ 現在の目標値はリングの中に「TARGET 6.0 dB」のように表示されます。リング上の印は、その素材で届く最も深い目標値を示します。
- ・ Learn のあとで THRESHOLD・RATIO・KNEE を手で回す、または CHARACTER を変えると、マーカーが薄くなります。設定した値はそのままですが、ゲインリダクションが TARGET どおりに効く保証はなくなります。もう一度マーカーをドラッグすると、TARGET が再適用されます。



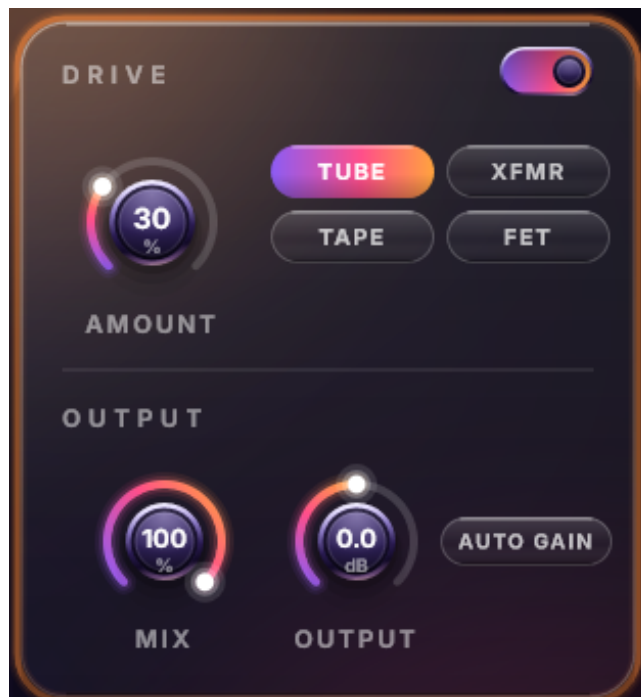
TARGET のツールチップ。

6.4 DRIVE

右上の DRIVE パネルは、コンプレッサーの後段にサチュレーションを加えます。

コントロール	役割
スイッチ（パネル右上）	DRIVE のオン・オフ。
AMOUNT	0～100 %。0 % は素通しで、そこからなめらかに効きが増します
TUBE	温かく厚い、主に偶数次の倍音: ボーカル、ベース
XFMR	TRANSFORMER（トランス）の略。低域がやや強く飽和し、高域がわずかに丸まります: ベース、キック、ミックス
TAPE	ピークが柔らかく、高域がやさしく丸まります: ドラムバス、きつい素材
FET	明るく硬い、奇数次の倍音: ドラム、ロックギター

- DRIVE は圧縮後の信号を処理し、その結果を MIX で原音とブレンドします。そのため MIX は、歪みとドライ音のブレンドも兼ねます。ステレオ信号では、DRIVE は Mid成分だけを歪ませ、Side成分には倍音を加えず、Mid と同じだけ音量を動かします。そのため、歪ませても定位やステレオの広がりは変わりません。



DRIVE をオンにした状態。

6.5 OUTPUT セクション

コントロール	範囲	初期設定	役割
MIX	0～100 %	100 %	ドライ音と圧縮音のブレンド（パラレルコンプレッション）。
OUTPUT	-24～+24 dB	0 dB	AUTO GAIN とは別に、ご自身で決める出力レベル。
AUTO GAIN	オン / オフ	オフ（Learn のあとオン）	圧縮で下がった音量を補います

7. Undo・Redo とサイズ変更

7.1 Undo と Redo

- ・ ウィンドウ右上の矢印をクリックするか、**Ctrl+Z** (Undo)、**Ctrl+Shift+Z** または **Ctrl+Y** (Redo) を押します (macOS では Ctrl の代わりに **Command**)。先に AC-1 のウィンドウをクリックして選んでおいてください。
- ・ 1 ステップは、AC-1 のウィンドウでの 1 回の操作です: ノブの 1 回のドラッグ、SOURCE の 1 回の変更、1 回の Learn、TARGET マーカーの 1 回のドラッグまたはダブルクリック。Learn の測定結果と TARGET も一緒に戻ります。

7.2 サイズ変更

- ・ 右下の角のつまみをドラッグします。縦横比は 16:9 のままです。サイズの範囲は 720 x 405~1280 x 720 ピクセル (初期設定は 960 x 540) です。
- ・ サイズは記憶されます。

8. よくある質問とトラブルシューティング

LEARN が「Waiting for audio」または「Signal too low」と出る。再生を始め、AC-1 の入力で -60 dBFS より大きい部分を流してください。Learn は実際の音だけを数え、8 秒ぶんとまるまで待ちます。

SOURCE を変えたら設定が変わった。仕様どおりです。AC-1 は保存した測定結果から再計算します。手で回したノブは、Learn の値とのずれを保ちます。戻りたいときは Undo を使ってください。

「Invalid serial format (AC1 + 12 characters).」シリアル番号の打ち間違いを確かめてください。AC1 に続く英数字 12 文字で、0 (ゼロ) と O (オー) の取り違えがよくあります。

「Activation failed: ...」コロンのあとの文章はサーバーからのものです。3 台の上限に達しているときは、使わなくなったコンピューターでサインアウトするか、アカウントページのライセンスの行を開き、「認証デバイス」の一覧から解除してください。

「Still checking the saved license. Try again in a moment.」AC-1 が保存済みのライセンスを再確認している最中です。少し待ってからやり直してください。

「This license was issued for another computer.」オフラインのライセンスファイルは、デバイストークンを作ったコンピューターでしか使えません。このコンピューターで新しいデバイストークンを書き出してください (3.4 項)。

「This license has expired. Connect to the internet to renew it.」インターネットに接続して AC-1 を開くと、ライセンスが更新されます。

「Could not save your free trial」 / 「Could not remove the license from this computer」AC-1 がユーザーフォルダーに書き込めませんでした。フォルダー (Windows では %APPDATA%\AIDE AUDIO、macOS では ~/Library/AIDE AUDIO) が書き込み可能か確かめてください。

9. サポート

ヘルプメニュー

ウィンドウ左上 (AIDE AUDIO のロゴの隣) の ? ボタンをクリックします。

- ・ **Send feedback...** は、ご意見やバグの報告を AIDE AUDIO へ送る画面を開きます (下記)。
- ・ **Manual** は、マニュアルをブラウザーで開きます。常に英語版の PDF が開きます。
- ・ **Support** は、AIDE AUDIO のお問い合わせページを開きます。
- ・ 最後の行は、バージョンです。サポートへ連絡するときは、こちらも添えてください。

フィードバックの送信

Send feedback... を選ぶと、フィードバック画面がウィンドウの上に開きます。

1. 種類を選びます: **Feature request** (機能の要望) / **Bug report** (不具合の報告) / **Other** (その他)。
2. 本文を書きます (4000 文字まで)。
3. **Send** をクリックします。

送られるのは、本文・種類・製品名・AC-1 のバージョン・OS 名・DAW 名だけです。**シリアル番号とデバイス ID は送られません。**

連絡先とウェブサイト

- ・ **ウェブサイト:** <https://aideaudio.com/>
- ・ **アカウントページ:** ライセンスの管理、インストーラーのダウンロード、認証デバイスの一覧 (コンピューターの解除)。
- ・ **サポート:** <https://aideaudio.com/contact> のお問い合わせフォーム (プラグインの ? メニューの Support から開けます) か、support@aideaudio.com。認証のトラブルでは、シリアル番号とアカウント画面のデバイス ID を添えてください。

ライセンスについて

このプラグインの再配布・共有は禁止です。1 つのシリアル番号は最大 3 台のコンピューターで使えます。シリアル番号の認証・更新・解除のために、AC-1 はシリアル番号・製品名・デバイス ID (コンピューターの識別子を一方向ハッシュ化した値)・コンピューター名を AIDE AUDIO のサーバーへ送ります。コンピューター名は、ダッシュボードの認証デバイス一覧に表示するために使います。試用期間とライセンスはお使いのコンピューターに保存され、DAW のプロジェクトには入りません。